

MonsterTV

PH-R / PH-*GTR*

ユーザーズガイド

SK-MOTVPHG
SK-MOTVPHR
Version1.0

SKnet

<http://www.sknet-web.co.jp>

ユーザズガイド目次

ご注意	1
はじめに	2
動作環境 / 製品仕様	3
パッケージ内容物の確認	4
ステップ1 IRQの確認	6
Windows 2000 の場合	6
Windows XP の場合	8
ステップ2 MonsterTV の設置	10
ステップ3 各種配線	11
ステップ4 DirectX のバージョン確認方法	12
ステップ5 DirectX のインストール	13
ステップ6 ドライバのインストール	14
Windows 2000 の場合	14
Windows XP の場合	18
ステップ 7 ドライバの確認	21
Windows 2000 の場合	21
Windows XP の場合	22
ステップ 8 DMA 設定の確認	23
Windows 2000 の場合	23
Windows XP の場合	25
ステップ 9 サウンド設定の確認	27
Windows 2000 の場合	27
Windows XP の場合	29
ステップ10 休止状態の確認	31
Windows 2000 の場合	31
Windows XP の場合	32
ステップ11 アプリケーションのインストール	33
操作パネルについて	35

ユーザーズガイド目次

アプリケーションの使い方	40
起動と終了	41
テレビ/ビデオを見る	42
テレビ/ビデオを録画する	44
録画/録音したファイルを再生する	44
タイムシフトを行う	45
予約録画/録音をする	46
留守録機能(休止録画)	47
プレビューウィンドウ	48
各種設定について	49
TV タブ	49
プレビュータブ	51
スナップタブ	54
キャプチャタブ	55
タイムシフトタブ	61
スケジューラタブ	62
バージョンタブ	65
DVD ダイレクトバーニングの方法	66
ショートカットキーについて	72
製品に関する情報	73

ご注意

1. 本製品および本書はエスケイネット株式会社の著作物です。
本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2. 製品および本書の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。
3. 本製品を運用した結果の他への影響に関して弊社では一切の責任を負いかねますので御了承の上ご使用ください。
4. 本製品は「外国為替および外国貿易法」に基づき日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込まれて使用されるように意図されていません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障などにより、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災炎症対策設計、誤作動防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
6. 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりませんのであらかじめご了承ください。
7. お客様は本製品、またはその使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
8. テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。
これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
9. 弊社はお客様が上記に記載されている諸条件のいずれかに違反された場合、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
10. 本製品のハードウェア、ソフトウェアを解析および変更することを禁じます。
11. 本製品および本書の内容について、不備やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

iEPG および iEPG ロゴはソニー株式会社の商標です。

本書に記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、MonsterTV PH-R/PH-GTR をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は最新のビデオ技術を駆使して開発した製品です。

多彩な機能が盛り込まれていますので、充実したパソコン環境を作ることができます。

MonsterTVをご使用になるにあたり、本書に従って正しくセットアップを行ってください。

MonsterTV PH-R/PH-GTR の機能と特徴

3次元「Y/C 分離回路」<GTR のみ>

テレビ用に開発された「業界最高水準」の Panasonic 社製 3 次元 Y/C 分離・

3 次元ノイズリダクションチップ「MN82832」を業界で初採用。

クロスカラーやドット妨害などを効果的に取り除きます。

3 次元輝度「ノイズリダクション」<GTR のみ>

3 画面分の映像情報を同時に比較し、10Mbit 処理することで、今までにない高精度の 3 次元ノイズリダクション機能を実現。

4.8dB という高いノイズ低減効果を発揮します。

「ゴースト」リデューサー搭載 <GTR のみ>

国内外の上位機種テレビ、DVD レコーダやビデオデッキ等で採用されている

OREN 社製ゴーストリデューサーチップを業界で初採用。

電波の悪い環境で発生する 2 重写り(ゴースト)を軽減します。

高画質「25Mbps」録画モード

「ダイレクトオーバーレイ」アーキテクチャ採用

「タイムシフト」機能対応

「静止画」スナップ機能

DVD ± RW 直接書き込み対応

音声ケーブルレスのダイレクトサウンド対応

動作環境 / 製品仕様

動作環境	
対象OS	Windows2000 Professional/ Windows XP
CPU	Intel PentiumIII 600MHz 以上または同等性能のPentium4、Celeron、AMD AthlonXP/Duron
メインメモリ	128MB以上 256MB推奨
サウンドシステム	Windows上で正常に使用できるWDMドライバを使用したサウンドシステム
グラフィック	800×600ドット、16ビットカラー以上でDirectDrawによるオーバーレイ表示が可能な環境
その他	CD-ROMドライブ(ドライバ/アプリケーションインストール時に必要) UltraDMA66以上のハードディスクドライブ 空きIRQ1つ DirectX 9.0以上必須

上記すべての環境での動作を保証するものではありません。

製品仕様	
外形寸法	143(W)mm × 102(H)mm × 16mm(D) 突起物を除く
インターフェイス	PCI Ver2.1以降
音声多重テレビチューナ	VHF(1～12)/UHF(13～62)/CATV(C13～63) 音声多重対応
映像形式	NTSC
ビデオ入力	Sビデオ(ミニDINピン) × 1 コンポジットビデオ(RCA) × 1
音声入力	RCA(L × 1, R × 1)
動画表示	アイコンサイズからフルスクリーンまで変更可能
静止画キャプチャ	最大800×600 JPEG/BMP形式 2フレーム動き補正高画質キャプチャ機能
色設定	輝度、コントラスト、彩度、色合い、シャープネス
使用温度範囲	5-35 (結露なきこと)

MPEGキャプチャ機能		
フィルタ	PH-R	アクティブ動き補正ノイズリダクションフィルタ
	PH-GTR	アクティブ動き補正ノイズリダクションフィルタ ゴーストリデュース 3次元Y/C分離 3次元輝度ノイズリダクション 3次元Y/C分離と3次元輝度ノイズリダクションは同時に使用できません。
MPEG2プロファイル	MP@ML	
MPEG2解像度	720 × 480, 480 × 480, 352 × 480, 352 × 240	
ビットレート	最大15Mbps, 25Mbps (1フレーム)	
GOP形式	I/IBP/IBBP Open/Closed 設定変更可能	
GOPフレーム距離 (M)	0～3	
GOP長さ (M)	1～19	

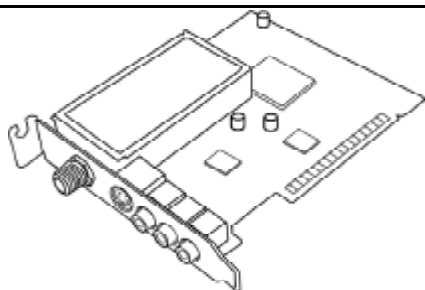
オーディオ	
サンプリングレート	48KHz
エンコーディング	MPEG1 Layer2 (256Kbps/384Kbps) / リニアPCMステレオ

パッケージ内容物の確認

お買い上げいただいた製品パッケージ内に、下記のものが含まれていることをご確認ください。

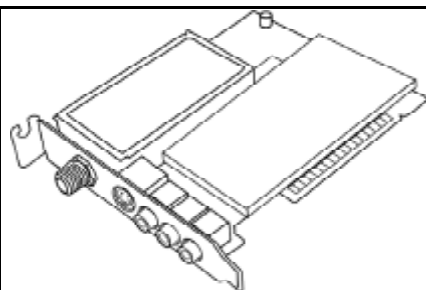
製品には万全を期しておりますが、万一欠品などお気づきの点がありましたらお手数ですが、お買い上げいただいた販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

MonsterTV PH-R



MonsterTV PH-R x1
ドライバ/アプリケーション /
添付ソフト CD-ROM x1
ユーザーズガイド x1
ユーザー登録はがき / 保証書 x1
シリアルナンバーシール

MonsterTV PH-GTR



MonsterTV PH-GTR x1
ドライバ/アプリケーション /
添付ソフト CD-ROM x1
ユーザーズガイド x1
ユーザー登録はがき / 保証書 x1
シリアルナンバーシール

シリアルナンバーシールは「ユーザー登録はがき」と「保証書」に添付し、「ユーザー登録はがき」を弊社までご返送下さい。保証書は大切に保管して下さい。

セットアップ

- ステップ 1 IRQの確認
- ステップ 2 MonsterTV の設置
- ステップ 3 各種配線
- ステップ 4 DirectXのバージョンの確認方法
- ステップ 5 DirectXのインストール
- ステップ 6 ドライバのインストール
- ステップ 7 ドライバの確認
- ステップ 8 DMA設定の確認
- ステップ 9 サウンド設定の確認
- ステップ 10 休止状態の確認
- ステップ 11 アプリケーションのインストール

ステップ1 IRQの確認

MonsterTVをご使用いただくには、空き IRQ (割り込み) が1つ必要です。以下の手順でIRQを確認してください。

Windows 2000の場合

- 1.[スタート] [設定] [コントロール パネル] [システム]をダブルクリックします。



- 2.[ハードウェア]タブ [デバイス マネージャ]をクリックします。



- 3.[表示]のプルダウンメニューから、「リソース(種類別)」を選択します。



4. 「割り込み要求(IRQ)」の項目の左にある「+」マークをクリックし、使用されている IRQ を表示します。



0 ~ 15 までの番号で、空いている番号 (表示されていない番号) があることを確認してください。

0 ~ 15 までの IRQ がすべて使用されていると、MonsterTV が正常に動作しない場合があります。

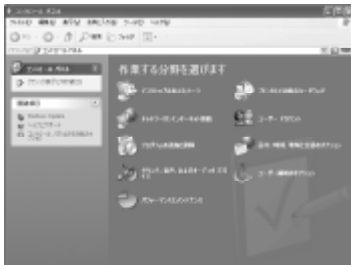
IRQ に空きがない場合、使用していないデバイスを取り外すか無効にするなど、IRQ の空きを作ってください。お使いのパソコンによっては BIOS で設定できる場合もあります。

デバイスの取り外しや設定方法については、お使いのパソコン、またはマザーボードなどの取り扱い説明書をご覧ください。

弊社 web サイト「サポート」ページにも IRQ に関する項目があります。こちらも参照してください。

Windows XP の場合

1. [スタート] [コントロールパネル] [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックします。



2. [システム] [ハードウェア]タブ [デバイス マネージャ]をクリックします。



3. [表示]のプルダウンメニューから、「リソース(種類別)」を選択します。



4. 「割り込み要求 (IRQ)」の項目の左にある「+」マークをクリックし、使用されている IRQ を表示します。



5. 0 ~ 15 までの番号で、空いている番号 (表示されていない番号) があることを確認してください。

0 ~ 15 までの IRQ がすべて使用されていると、MonsterTV が正常に動作しない場合があります。

IRQ に空きがない場合、使用していないデバイスを取り外すか無効にするなど、IRQ の空きを作ってください。お使いのパソコンによっては BIOS で設定できる場合もあります。

デバイスの取り外しや設定方法については、お使いのパソコン、またはマザーボードなどの取り扱い説明書をご覧ください。

弊社 web サイト「サポート」ページにも IRQ に関する項目があります。こちらも参照してください

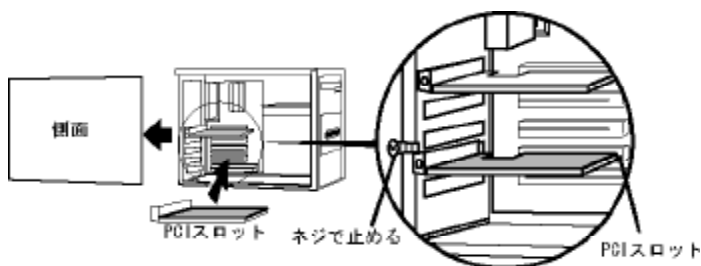
ステップ2 MonsterTV の設置

お使いのパソコンのPCI スロットに MonsterTV 本体を取り付けます。
パソコン本体のカバーの取り外しなどの手順は、お使いのパソコン、またはパソコンケースに付属している取り扱い説明書を参照してください。

本製品は精密機器です。
強い衝撃や微弱な静電気で致命的なダメージを受ける恐れがあります。
作業前にはできるだけ梱包されていた静電防止用の袋から出さないようにしてください。
作業の前にパソコン本体の電源ユニットなど、未塗装部分に触れて身体の静電気を逃してください。

取り付け手順

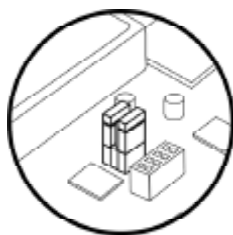
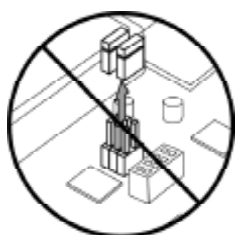
1. Windows を終了し、パソコンの電源をオフにします。
2. パソコンの電源ケーブルを取りはずします。
3. パソコンのカバーをはずし、MonsterTV 本体を PCI スロットに挿入します。



4. PCI スロットに挿入した MonsterTV をスロットに固定し、パソコンのカバーを取り付けます。

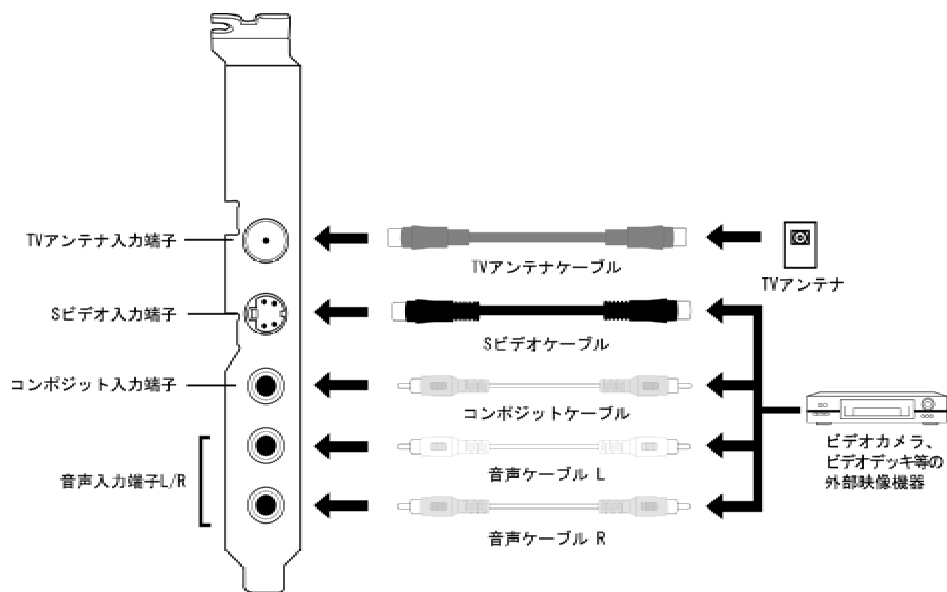
MonsterTV PH-R に関してのご注意

下記 の様にジャンパーを外してしまうと、MonsterTV が正常に動作しなくなります。 の状態にしてご使用ください。



ステップ 3 各種配線

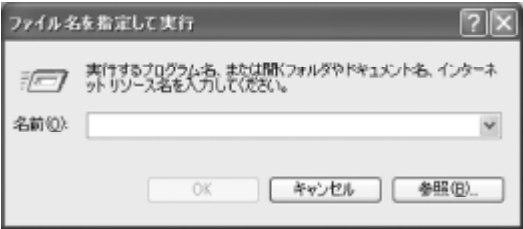
下記を参照してMonsterTVの各種ケーブルを接続します。
テレビアンテナを接続するケーブル、および外部装置の接続ケーブルは別途ご用意ください。



ステップ 4 DirectX のバージョン確認方法

MonsterTV を使用するには、お使いのパソコンに DirectX9.0 以降がインストールされている必要があります。
現在インストールされている DirectX のバージョンがわからない場合は、下記の手順でインストールされている DirectX のバージョンを確認してください。

- 1. パソコンを起動します。
- 2. [スタート] [ファイル名を指定して実行] をクリックします。



- 3. 「名前(O):」のテキストボックスに以下のようにキーボードから入力します。
`dxdiag`

- 4. [OK], 画面が切り替わります。

- 5. DirectX のバージョンを確認します。
DirectX のバージョンを確認するには、画面下部の「DirectX のバージョン」をクリックします。すると、DirectX のバージョンが表示されます。



ステップ 5 DirectX のインストール

お使いのパソコンにDirectX9.0以降がインストールされていない場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードしていただくか、または付属のデバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM の "DirectX" "DirectX9" フォルダ内のインストーラを使用して、アップデートしてください。
フォルダ内にはDirectX9.0bセットアッププログラムが用意されています。



また、お使いのビデオドライバがDirectX9.0以降に対応しているか確認し、必要な場合はドライバをアップデートしてください。

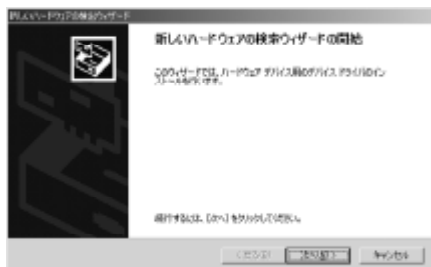
ビデオドライバに関してはお使いのビデオカード、またはパソコンの販売元にお問合せください。

ステップ 6 ドライバのインストール

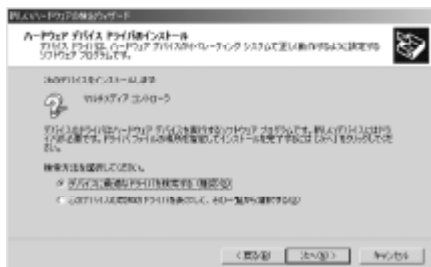
お使いのパソコンにMonsterTVのドライバをインストールします。
MonsterTVの取り付け後、Windowsを起動すると自動的に新しいデバイスを認識します。各OSごとの手順に従って、ドライバをインストールしてください。

Windows 2000 の場合

1. 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、付属のデバイスドライバ/アプリケーションCD-ROMをパソコンにセットし、[次へ]をクリックします。



2. 「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、[次へ]をクリックします。



3. 「CD-ROM ドライブ」をチェックし、[次へ]をクリックします。



4. 下の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。



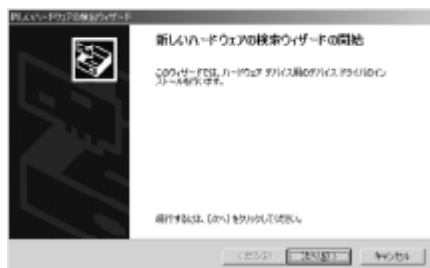
5. 下の画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



6. 下の画面が表示されるので[完了]をクリックします。



7. 次のデバイスが認識されます。[次へ]をクリックします。



7. 「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックし、[次へ]をクリックします。



8. 「CD-ROM ドライブ」をチェックし、[次へ]をクリックします。



9. 下の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。



10. 下の画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



11. 下の画面が表示されるので[完了]をクリックします。



以上でインストール完了です。

アンインストールの方法

以下の手順に従ってアンインストールを行ってください。

1. 付属の「デバイスドライバ/アプリケーション CD-ROM」をパソコンにセットします。
2. 「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CDの中を開きます。
3. 「Driver Remover.exe」をダブルクリックします。
4. ウィザードが起動しますので、ウィザードに従ってアンインストールを行ってください。

Windows XP の場合

1. 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動するので、「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックします。
付属のデバイスドライバ/アプリケーション CD-ROM をパソコンにセットし、[次へ]をクリックします。



2. 「リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」をチェックし、[次へ]をクリックします。



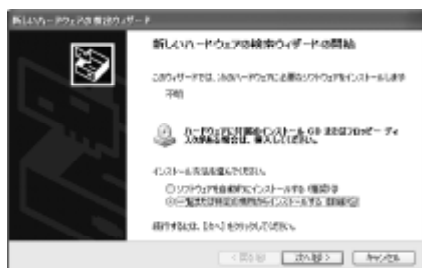
3. 下の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。



4. 下の画面が表示されるので[完了]をクリックします。
続けて次のドライバをインストールします。



5. 次のデバイスが認識されます。「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックし、[次へ]をクリックします。



6. 「リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」をチェックし、[次へ]をクリックします。



7. 下の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。



8. 下の画面が表示されるので[完了]をクリックします。



以上でインストール完了です。

アンインストールの方法

以下の手順に従ってアンインストールを行ってください。

1. 付属の「デバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM」をパソコンにセットします。
2. 「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CDの中を開きます。
3. 「Driver Remover.exe」をダブルクリックします。
4. ウィザードが起動しますので、ウィザードに従ってアンインストールを行ってください。

ステップ 7 ドライバの確認

MonsterTVのドライバが正常にインストールされているか確認します。

Windows 2000 の場合

1. [スタート] [設定] [コントロール パネル] [システム]をクリックします。



2. [ハードウェア]タブ [デバイス マネージャ]をクリックします。



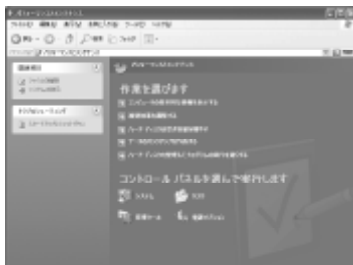
3. [デバイス マネージャ]の「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」の項目の左にある「+」マークをクリックし、インストールされているドライバを表示します。



ここに「MonsterTV TV Tuner(Combined)」および「MonsterTV Video Capture Device(Combined)」が表示されていれば、ドライバのインストールは正常に完了しています。

Windows XP の場合

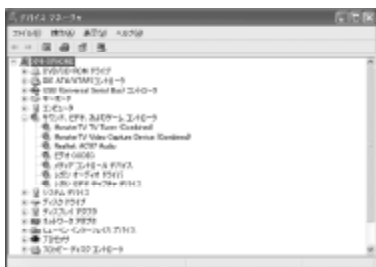
1. [スタート] [コントロールパネル] [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックします。



2. [システム] [ハードウェア]タブ [デバイス マネージャ]をクリックします。



3. [デバイス マネージャ]の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の項目の左にある「+」マークをクリックし、インストールされているドライバを表示します。



ここに「MonsterTV TV Tuner(Combined)」および「MonsterTV Video Capture Device(Combined)」が表示されていれば、ドライバのインストールは正常に完了しています。

ステップ 8 DMA 設定の確認

ハードディスクのDMAの設定を確認します。
DMAの設定がされていないと、キャプチャしたファイルでコマ落ちなどが発生する場合があります。

お使いのパソコンのハードディスクがDMA 転送に対応している必要があります。
下記の手順は一般的な設定方法について説明しています。

お使いのパソコンのハードディスクがDMA 転送に対応していても、ドライバによっては、以下の手順での確認、設定ができない場合があります。

デバイスマネージャに表示される名称は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

これらの内容については、パソコンの取り扱い説明書を参照するか、パソコン、またはハードディスクの販売元にお問合せください。

Windows 2000 の場合

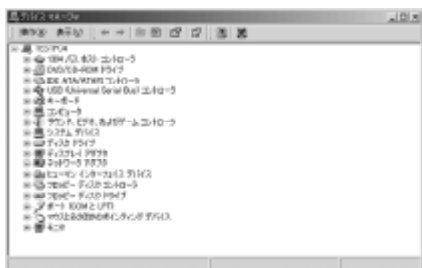
1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [システム]をダブルクリックします。



2. [ハードウェア]タブ [デバイスマネージャ]をクリックします。



3. 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」の項目の左にある「+」マークをクリックします。



4. 「プライマリ IDE チャンネル」の項目をダブルクリックし、「詳細設定」タブをクリックします。



5. 「デバイス 0」の項目の「転送モード」の設定が「DMA (利用可能な場合)」になっていることを確認します。
設定されていない場合は、プルダウンメニューから「DMA (利用可能な場合)」を選択します。
ハードディスクが複数ある場合は、と「デバイス 1」の項目でも同じ設定を行ってください。



6. 必要に応じて、「セカンダリ IDE チャンネル」も同じ手順で確認します。
7. 指示に従って Windows を再起動してください。

Windows XP の場合

1. [スタート] [コントロールパネル] [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックします。



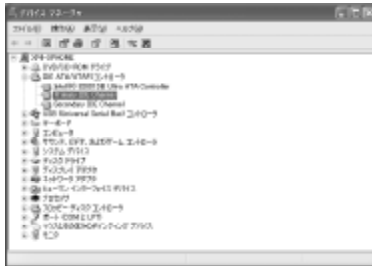
2. [システム] [ハードウェア]タブ [デバイスマネージャ]をクリックします。



3. [デバイスマネージャ]の「IDE ATA/ATAPI コントローラ」の項目の左にある「+」マークをクリックします。



4. 「プライマリ IDE チャンネル」の項目をダブルクリックし、「詳細設定」タブをクリックします。



5. 「デバイス 0」の項目の「転送モード」の設定が「DMA (利用可能な場合)」になっていることを確認します。設定されていない場合は、プルダウンメニューから「DMA (利用可能な場合)」を選択します。ハードディスクが複数ある場合は、と「デバイス 1」の項目でも同じ設定を行ってください。



6. 必要に応じて、「セカンダリ I DE チャンネル」も同じ手順で確認します。
7. 指示に従って windows を再起動して下さい。

ステップ 9 サウンド設定の確認

サウンドデバイスの設定を確認します。

下記の手順は一般的な設定方法について説明されています。
お使いのパソコンのサウンドデバイスやドライバによっては、以下の手順での確認、設定ができない場合があります。

デバイスマネージャに表示される名称は、お使いのパソコンのサウンドデバイスやドライバによって異なります。

これらの内容については、パソコンの取り扱い説明書を参照するか、パソコン、またはハードディスクの販売元にお問い合わせください。

Windows 2000 の場合

1. [スタート] [設定] [コントロール パネル] [サウンドとマルチメディア]をダブルクリックします。



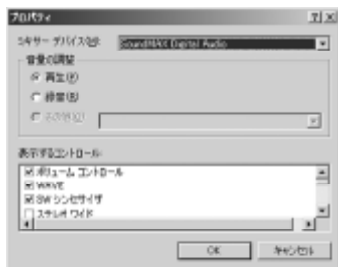
2. [オーディオ]タブをクリックし、「音の再生」の項目の[音量]をクリックします。



3. ボリュームコントロールの画面が表示されるので、[オプション] [プロパティ]をクリックします。



4. 「表示するコントロール」のリストから「WAVE」のチェックボックスがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、このチェックボックスをチェックします。



5. [OK]をクリックして、ボリュームコントロールの画面で「WAVE」の「ミュート」のチェックボックスがチェックされていないことを確認します。
チェックされている場合は、このチェックをはずします。



チェックされている場合は、このチェックをはずします。

Windows XP の場合

1. [スタート] [コントロールパネル] [サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]をクリックします。



2. [サウンドとオーディオデバイス] [オーディオ]タブをクリックし、「音の再生」の項目の[音量]をクリックします。



3. ボリュームコントロールの画面が表示されるので、[オプション] [プロパティ]をクリックします。



4. 「表示するコントロール」のリストから「WAVE」チェックボックスがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、このチェックボックスをチェックします。



5. [OK]をクリックしてボリュームコントロール画面に戻り「ミュート」のチェックボックスがチェックされていないことを確認します。



ステップ10 休止状態の確認

留守録(休止録画)の機能を使うために、休止状態の設定を確認します。

お使いのパソコンが休止状態をサポートしている必要があります。

休止状態のサポートについては、パソコンの取り扱い説明書を参照するか、パソコンの販売元にお問合せください。

Windows 2000 の場合

1. [スタート] [設定] [コントロール パネル] [電源オプション]をダブルクリックします。



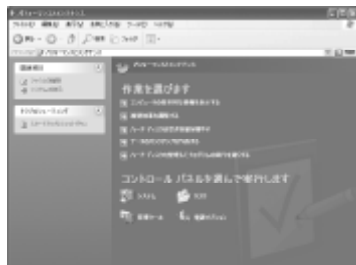
2. [休止状態]タブをクリックします。



3. 「休止状態」項目の「休止状態を有効にする」のチェックボックスがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、このチェックボックスをチェックします。

Windows XP の場合

1. [スタート] [コントロール パネル] [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックします。



2. [電源オプション] [休止状態]タブをクリックします。



3. 「休止状態」項目の「休止状態を有効にする」のチェックボックスがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、このチェックボックスをチェックします。

ステップ11 アプリケーションのインストール

MonsterTVのアプリケーションをインストールします。
以下の手順に従って、アプリケーションをインストールしてください。

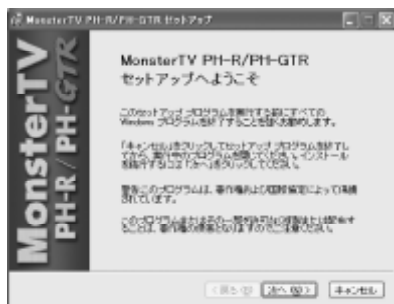
アプリケーションをインストールする前に、現在実行している他のアプリケーションをすべて終了させてください。

インストールはAdministrator、管理者権限をもつユーザーで行ってください。

1. 「デバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM」の中にある "MonsterTV.exe" をダブルクリックします。



2. 下の画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



3. アプリケーションをインストールするフォルダを指定します。
インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして、インストールするフォルダを指定し、[次へ]をクリックします。



4. 下の画面が表示されるので[次へ]をクリックします。



5. 下の画面が表示されるので[終了]をクリックします。



6. 再起動を要求された場合、画面の指示に従ってWindowsを再起動してください。

操作パネルについて



ステータス表示ウィンドウ

チャンネル表示、時間表示、各種設定などの情報を表示します。

入力ソースボタン



入力ソースを切り替えます。

ボタンをクリックすると以下の順番に切り替ります。

[テレビ] [ビデオ] [Sビデオ]

現在の入力ソースはステータス表示ウィンドウに表示されます。

録画モードボタン



ボタンをクリックするたびに、キャプチャされる動画ファイルの品質を切り替えます。

長時間 : MPEG2 2Mbps VBR 720 × 480 ドット

標準 : MPEG2 5Mbps VBR 720 × 480 ドット

高画質 : MPEG2 8Mbps VBR 720 × 480 ドット

カスタム : [設定]ボタン [キャプチャ]タブのカスタム設定で設定された品質でキャプチャされます。

音声は16bit 48KHz ステレオの品質になります。

休止ボタン



留守録機能を使用する場合に、パソコンを休止状態にします。

(留守録機能(休止録画)47ページを参照)

設定ボタン



設定ウィンドウを開きます。
MonsterTVの各種設定は、この設定ウィンドウから行います。
(「各種設定について設定」を参照)

音声モードボタン



二ヶ国語(音声多重)放送の場合、ボタンをクリックすると音声モードが切り替わります。
現在の音声モードはステータス表示ウィンドウに表示されます。

スナップボタン



静止画をキャプチャします。
[設定]ボタン [スナップ]タブで設定された画質でキャプチャされます。

全画面ボタン



プリビューウィンドウを全画面表示に切り替えます(プリビューウィンドウをダブルクリックすることでも全画面表示になります)。全画面表示中に画面をダブルクリックすると通常のウィンドウ表示に戻ります。

クローズボタン

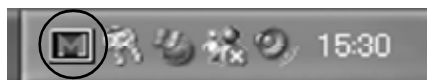


MonsterTVアプリケーションを終了します。

最小化ボタン



「操作パネルのみ」または「すべて」を最小化することができます。最小化を行うとタスクバーにアイコンとして登録されるので、再度操作パネルを表示させる場合には、下記のアイコンをダブルクリックしてください。



スライドバー



タイムシフトや録画したファイルを再生中にドラッグすることで任意のシーンにジャンプすることができます。

タイムシフトボタン



タイムシフトモードに切り替えます。
(「タイムシフトを行なう」45ページを参照)

ファイルを開く / 再生ボタン



キャプチャしたファイルを選択し、再生します。

録画ボタン



各入力ソースや設定に応じたフォーマットでキャプチャを行います。

停止ボタン



再生、録画を停止します。

一時停止ボタン



再生を一時停止します。
一時停止時中にクリックすると、再生します。

巻き戻しボタン



このボタンをクリックする毎に、数秒ずつ映像を巻き戻します。

早送りボタン



このボタンをクリックする毎に、数秒ずつ映像を早送りします。

前ボタン



再生している動画ファイルの開始位置まで戻ります。
連続分割で保存されている場合は、再生中のファイルの先頭に戻ります。

次ボタン



再生している動画ファイルの終了位置まで進みます。
連続分割で保存されている場合は、次のファイルの先頭に進みます。

チャンネルボタン

数字のボタン、矢印のボタンをクリックしてチャンネルを切り替えます。



前のチャンネルに切り替えます。



次のチャンネルに切り替えます。

ボリュームコントロールボタン



音量を上げます。



音量を下げます。

ミュートボタン

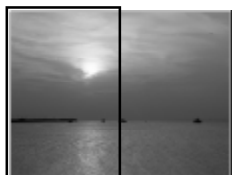


音声を消音します。

便利な機能

チャンネルや音量をすばやく切り替えるには

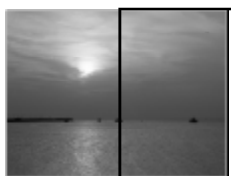
マウスのホイールを使ったチャンネルの変更
プレビューウィンドウ上の左側で、ホイールを回転させると
チャンネルをすばやく変更することができます。



上回転: 前のチャンネルに切り替えます。

下回転: 次のチャンネルに切り替えます。

マウスのホイールを使ったボリュームの変更
プレビューウィンドウ上の右側で、ホイールを回転させると
ボリュームを変更することができます。



上回転: 音量を上げます。

下回転: 音量を下げます。

アプリケーションの使い方

注意事項

本製品を使用中はサスペンド・ハイバネーション等のパソコンの省電力機能が働かないようにしてください

著作権保護された映像は取り込めません。

本製品を使用中は他のアプリケーションを使用しないでください。

MonsterTV アプリケーション起動中はWindowsXP のユーザーの簡易切り替えを行わないでください。

古いビデオテープや、ビデオデッキでの早送り、巻き戻し、チャンネル切り替えなどによる画像ノイズにより正常に取り込めない場合があります。その場合は、弊社の画像改善ユニット「パワースタビライザー 3DWPro」をお試ください。TBC(タイムベースコレクタ)やフレームシンクロナイザで乱れた信号を補正して出力します。そのためMonsterTVで問題なく取り込みが可能になります。

家庭用TVゲーム機の映像で信号規格に合致していないものは取り込みできません。

起動と終了

デスクトップ上の[MonsterTV]アイコンをダブルクリック、または、[スタート]
[プログラム](Windows XP では[すべてのプログラム]) [MonsterTV]
[MonsterTV]をクリックすることで、MonsterTV アプリケーションが起動しま
す。

MonsterTV アプリケーションが起動すると、実際の画像を表示する
「プレビューウィンドウ」と「操作パネル」が表示されます。
終了する場合は、操作パネルのクローズボタンをクリックします。



プレビューウィンドウ
(画像はイメージです)



コントロールパネル

テレビ / ビデオを見る


テレビ/ビデオを見るまでの設定をします。

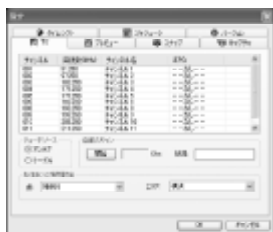
[テレビをみる場合]

1. 入力ソースを設定する。



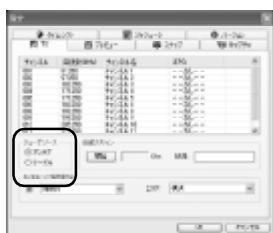
をクリックして、[テレビ]に設定します。

2.  をクリックして[TV]タブの画面を開く。



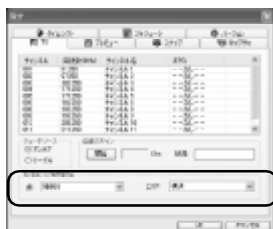
3. [チューナーソース]から任意のソースを選択する。

通常の地上波アンテナ : アンテナ
ケーブルテレビ : ケーブル



4. [お住まいの場所設定]を設定をする。

[お住まいの場所設定]の[県]と[エリア]をプルダウンメニューから設定します。



5. 自動スキャンする。

[自動スキャン]の[開始]ボタンをクリックします。
スキャンが終了したら[OK]ボタンをクリックして閉じます。



6. 設定終了。

チャンネルボタンをクリックして見たいチャンネルを選択してください。



[ビデオを見る場合]

1. ビデオデッキなど外部機器から映像が出力がされていることを確認してください。

2. 入力ソースを設定する。



をクリックして、[Sビデオ]または、[ビデオ]に設定します。

Sビデオ入力 : Sビデオ
コンポジット入力 : ビデオ

テレビ / ビデオを録画する

1. 入力ソースを設定する。



をクリックして、任意の設定にしてください。

テレビ / ケーブル : テレビ
Sビデオ入力 : Sビデオ
ビデオ入力 : ビデオ

2. 品質を設定する。



をクリックして、キャプチャされる動画ファイルの品質を設定します。

長時間 : MPEG2 2Mbps VBR 720 × 480 ドット
標準 : MPEG2 5Mbps VBR 720 × 480 ドット
高画質 : MPEG2 8Mbps VBR 720 × 480 ドット
カスタム : [設定] ボタン [キャプチャ] タブのカスタム設定で
設定された品質でキャプチャされます。
音声は 16bit 48KHz ステレオの品質になります。

3. 録画する



をクリックします。

録画されたファイルの保存場所や品質などの詳細な設定は操作パネルの[設定]
[キャプチャ]タブで行います。

録画 / 録音したファイルを再生する

1. をクリックする

2. ファイルを開く

下記画面が表示されるので、再生したいファイルを指定し、[開く]をクリックします。



タイムシフトを行う


一時ファイルを作成しながら再生することで、見ているテレビ/ビデオを一時停止、巻き戻し、スキップなど自在に操作することができます。

1. 入力ソースを設定する。



をクリックして、任意の設定にしてください。

テレビ入力	: テレビ
Sビデオ入力	: Sビデオ
コンボジット入力	: ビデオ

2. をクリックする。



3. タイムシフトがスタートします。

ビデオ操作ボタンで再生、一時停止、巻き戻し、スライダーでのシーンの移動などの操作が可能になります。

予約録画 / 録音をする

スケジューラを使って番組の予約録画/録音をすることができます。
予約録画は10個まで設定できます。

1. 入力ソースを設定する。



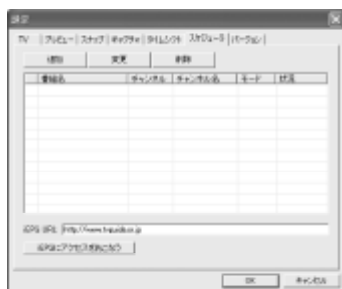
をクリックして、任意の設定にしてください。

テレビ入力 : テレビ
Sビデオ入力 : Sビデオ
コンボジット入力 : ビデオ

2. スケジューラタブを開く



をクリック [スケジューラ]タブを開きます。

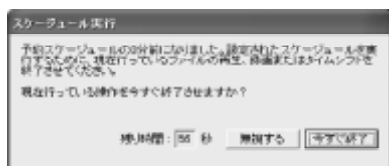


3. スケジュールを設定する

設定については62ページの[スケジューラ]タブを参照してください。

予約開始時間の直前に、再生・録画・タイムシフトなどの操作を行わないでください。

予約開始時間の3分前に再生・録画・タイムシフトなどの操作を行っていた場合、下の警告メッセージが表示されます。





現在の操作を続行する場合は[無視する]を、終了させる場合は[今すぐ終了]をクリックしてください。

どちらもクリックしないで1分間たつとこのウィンドウは自動的に閉じられ、現在の操作が続行されます(そのまま操作を続けていると、予約録画は実行されません)。

留守録機能（休止録画）

お使いのパソコンが休止状態(S4)に対応している場合、操作パネルの[休止]ボタンをクリックしてパソコンを休止状態に移行させることができます。この状態で予約された録画開始時間の5分前になると、自動的に休止状態から復帰し、録画を開始します。

1.  をクリックする

録画の予約が設定されている状態で、操作パネルの  をクリックします。

休止状態をサポートする全ての環境での動作を保障するものではありません。

留守録機能で録画を行ったあと、他にスケジュールがなければWindowsを自動的にシャットダウンします。

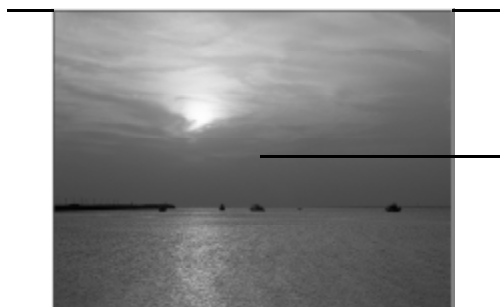
登録された1つ目のスケジュールから10分以内に次のスケジュールがあればそのまま待機し、時間が来た時点で録画を開始します。

次のスケジュール開始が前のスケジュール終了の10分後以降であれば再度休止状態になります。すべてのスケジュールが終了した時点でWindowsをシャットダウンします。

テストプログラムについて

このプログラムを使うことでお使いのパソコンが留守録機能に対応しているか確認することができます。使い方は付属のCD-ROM "Ptest" フォルダ内部の "read_me.txt" をご覧下さい。

プレビューウィンドウ



16 : 9の縦横比を維持しながら画面サイズを変更

「プレビューウィンドウ」の左上隅をドラッグしたままマウスカーソルを移動すると16 : 9の縦横比を維持しながら画面サイズを変更できます。

4 : 3の縦横比を維持しながら画面サイズを変更

「プレビューウィンドウ」の右上隅をドラッグしたままマウスカーソルを移動すると4 : 3の縦横比を維持しながら画面サイズを変更できます。

縦横比を自由に変更しながら画面サイズを変更

「プレビューウィンドウ」の左下隅または右下隅をドラッグしたままマウスカーソルを移動すると縦横比を自由に変更しながら画面サイズを変更できます。

フルスクリーン表示

「プレビューウィンドウ」をダブルクリックするとフルスクリーン表示にすることができます。プレビューウィンドウを再度ダブルクリックすると標準のウィンドウ表示に戻ります。

各種設定について

各設定はすべて操作パネルの設定ボタンから行います。
各機能のタブを切り替えて設定してください。

TV タブ

入力ソースが「テレビ」の場合に設定できます。
操作パネルの[入力ソース]ボタンで「テレビ」に切り替えてください。



チャンネルの設定

MonsterTVに接続されているテレビアンテナが通常の地上波アンテナの場合は「チューナソース」の「アンテナ」を、ケーブルテレビをご使用の場合は「ケーブル」のラジオボタンをチェックします。

「お住まいの場所設定」の「県:」と「エリア:」のプルダウンメニューでお住まいの地域を設定します。

「自動スキャン」の[開始]ボタンをクリックすると自動スキャンが始まります。

自動的に受信できるチャンネルがリストに追加されます。

チャンネルリストの「周波数」の項目をダブルクリックすると、下の画面が表示されます。微調整が必要な場合にご使用ください。

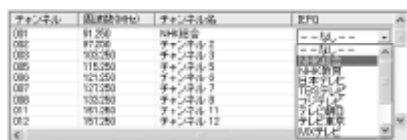


チャンネルリストの「チャンネル名」の項目をダブルクリックすると、テキストボックスが表示されます。チャンネル名を直接入力して下さい。

チャンネル	周波数(MHz)	チャンネル名	iEPG
001	91.250	放送局	--iFL--
002	97.250	チャンネル 2	--iFL--
003	103.250	チャンネル 3	--iFL--
004	109.250	チャンネル 4	--iFL--
005	115.250	チャンネル 5	--iFL--
006	121.250	チャンネル 6	--iFL--
007	127.250	チャンネル 7	--iFL--
008	133.250	チャンネル 8	--iFL--
009	139.250	チャンネル 9	--iFL--
010	145.250	チャンネル 10	--iFL--
011	151.250	チャンネル 11	--iFL--
012	157.250	チャンネル 12	--iFL--

チャンネルリストの「iEPG」の項目をダブルクリックすると、チャンネル名のプルダウンメニューが表示されます。対応する放送局名を選択してください。

iEPG のチャンネル名が設定されていないと iEPG を使用して番組を予約することはできません。



必要のないチャンネルはリスト上で選択してキーボードの「削除」キーを押して削除することができます。

チャンネル	周波数(MHz)	チャンネル名	iEPG
001	91.250	放送局	--iFL--
002	97.250	チャンネル 2	--iFL--
003	103.250	チャンネル 3	--iFL--
004	109.250	チャンネル 4	--iFL--
005	115.250	チャンネル 5	--iFL--
006	121.250	チャンネル 6	--iFL--
007	127.250	チャンネル 7	--iFL--
008	133.250	チャンネル 8	--iFL--
009	139.250	チャンネル 9	--iFL--
010	145.250	チャンネル 10	--iFL--
011	151.250	チャンネル 11	--iFL--
012	157.250	チャンネル 12	--iFL--

プレビュータブ

入力ソースが「テレビ」、「ビデオ」、「Sビデオ」の場合に設定できます。表示およびキャプチャ時の画面表示色の設定や、プログレッシブフィルタの設定をします。

表示色の設定は各入力ソース毎にそれぞれ設定することができます。



プレビュー設定

「画面をつねに最前面に表示する」のチェックボックスにチェックすることで、MonsterTVのプレビューウィンドウが他のアプリケーションのウィンドウに隠れないようにします。

プログレッシブフィルタ

地上波などのインターレース方式では偶数フィールドと奇数フィールドを交互に表示するため、動きの速い映像ではジャギーノイズなどが表示されます。しかしプログレッシブフィルタ(DScaler)を使用することで順次にデータを映し出してひとコマ分の映像を作り出すことができます。そのため走査線の本数が同じでも時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少なく、密度の高い映像になります。

ただし、その性質上画面が上下にふるえてみえることがあります。その場合は、プログレッシブフィルタをオフにして使用してください。本設定は表示の効果であり、録画されるファイルには影響しません。

プレビュー時のみ有効にする：

プレビュー画面表示にのみプログレッシブフィルタを使用します。CPUリソースを節約するため録画/タイムシフト時にはプログレッシブフィルタを使用しません。

つねに有効にする：

録画/タイムシフト時もプログレッシブフィルタを使用します。

つねに無効にする：

プログレッシブフィルタを一切使いません。

デジタル処理 MonsterTV PH-GTR のみ

デジタル処理の設定を選択します。

ゴーストリダクション：

576 TAP のデジタルフィルタを高精度 DSP によりアクティブに割り当てることにより、電波障害によって生じる前ゴーストやロングゴーストを低減することができます。二重写りをくっきりと鮮明な映像に補正します。

ゴースト軽減用の基準信号が正常に受信できない地域や環境では効果がない場合があります。

ゴースト軽減機能が働くまで 1 ～ 2 秒、収束まで 10 秒ほどかかります。チャンネル切り替え時には、その都度ゴースト処理が開始されます。

3 次元ノイズリダクション：

3 画面の映像情報を同時に処理することで、今までにない 4.8dB という高精度の 3 次元ノイズリダクション機能を実現しています。

3 次元 Y/C 分離：

16Mbit メモリに従来の 2 倍の 2 画面データを保存し、トータル 3 画面で動きを検出し補正することでクロスカラーやドット妨害などを効果的に取り除きます。

3 次元ノイズリダクションと 3 次元 Y/C 分離は下記の表の様に排他使用になります。

有効になっているデジタル処理	ノイズリダクション	Y/C 分離
3 次元ノイズリダクション	3 次元	2 次元
3 次元 Y/C 分離	2 次元	3 次元

S ビデオから入力時は仕様により 3 次元 Y/C 分離・ノイズリダクション・ゴーストリダクション機能は使用できません。

入力ソースが [ビデオ] でビデオデッキ等が非標準の信号を出力する場合、3 次元 Y/C 分離の項目がグレーアウトし、自動的に 2 次元 Y/C 分離処理になります。

音響効果

[立体音響効果] のチェックボックスをチェックすることで、臨場感あふれる立体的な音響効果を得ることができます。

色の設定

各種色設定を調整することができます。
この設定は録画ファイルにも反映されます。

色の設定を行う入力ソースを選択します。
それぞれ、[テレビ色設定]、[ビデオ色設定]、[Sビデオ色設定]をクリックすることで 選択できます。

現在選択している入力ソースは、「ビデオソース」の項目に表示されません。

「輝度:」、「コントラスト:」、「彩度:」、「色合い:」、「シャープネス:」のそれぞれの項目のスライダーをドラッグして調整を行います。

[初期設定]をクリックすることで、すべての入力ソースの設定を初期値にすることができます。

「テレビ設定にすべてあわせる」のチェックボックスにチェックすることで、他のソースの設定をテレビの色の設定に合わせることができます。

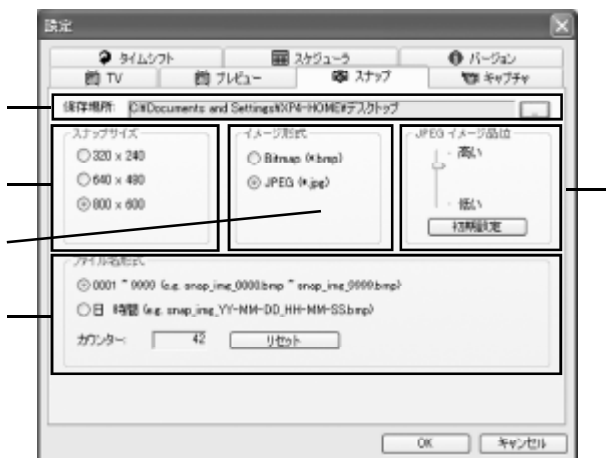
この項目にチェックを付けた後、チェックをはずしても前の設定には戻りません。

キーボードでも色設定

キーボードの[]キー、[]キーでもかんたんに色設定が可能です。

スナップタブ

入力ソースが「テレビ」、「ビデオ」、「Sビデオ」の場合に設定できます。操作パネルの[スナップ]ボタンをクリックした場合にキャプチャされる画像ファイルの設定をします。



保存場所

画像ファイルの保存場所を[...]をクリックして設定します。

スナップサイズ

画像サイズをラジオボタンにチェックして設定します。

イメージ形式

保存される画像のファイル形式をビットマップかJPEGに設定することができます。

JPEG イメージ品位

保存した場合の画像品位をスライダーで設定します。

[高い]にするほど画像品位は上がりますが、ファイルサイズは大きくなります。[初期設定]をクリックすることで、この設定を初期設定に戻すことができます。

ファイル名形式

画像ファイルに自動的につけられるファイル名を設定します。

数字での連番形式か日時のどちらかをラジオボタンをチェックして設定します。

数字での連番形式に設定した場合、「カウンター:」にカウントされている番号がファイル名につけられます。

[リセット]をクリックすることで、カウントを初期値に戻すことができます。

キャプチャタブ

動画キャプチャの設定をします。



保存場所

キャプチャされたファイルの保存場所を[...]をクリックして設定します。

自動停止

自動的に録画を停止する条件をラジオボタンで選択します。

サイズ:

ファイルサイズの数値をMB単位でテキストボックスに直接入力します。

OS、ファイルシステム、ハードディスクの残り容量など、環境により設定できるファイルサイズに制限があります。

時間:

設定した時間数になると自動的に録画を停止します。時間と分をそれぞれの ボタンで設定します。

ファイルシステムによるファイルサイズの上限やハードディスクの残り容量などの制限で時間前に録画が停止する場合もあります。

なし:

自動停止を行いません。

ファイルシステムによるファイルサイズの上限やハードディスクの残り容量などの制限で時間前に録画が停止する場合もあります。

タイムスタンプの制限により DVD 互換 MPEG では13時間、通常の MPEG ファイルでは26時間までの録画になります。さらに長時間録画を行いたい場合は[分割]機能を使用して下さい。

分割

長時間の連続録画やDVDやCDなどデジタルメディアに保存するために、ファイルサイズを指定することができます。

[1 個]

この項目のラジオボタンをチェックすると、設定したファイルサイズになると自動的に録画/録音を終了します。

[連続分割]

この項目のラジオボタンをチェックすると、設定したファイルサイズになると自動的に次のファイルを作成し録画/録音を続行します。

カスタム設定
品質

操作パネルの[録画モード]ボタンで「カスタム」を選択した場合の画像品質(フォーマット)をプルダウンメニューから選択します。



詳細設定

品質をプルダウンメニューから詳細カスタムプロフィールを選択したときのみ設定できます。

上級者向けの詳細な設定変更を行うことができます。
(詳細品質設定については次項)

ビデオストリーム

記録するストリームを選択することができます。

操作パネルの録画モードボタンで「カスタム」を選択した場合
キャプチャするデータ種別をラジオボタンで選択します。

オーディオ : 音声部分のみをキャプチャします。
ビデオ : 動画部分のみをキャプチャします。
オーディオ + ビデオ : 動画と音声の両方をキャプチャします。

詳細品質設定

ビデオタブ



ビットレート設定

設定動画のビットレートなど、エンコードに関する設定を行います。

CBR :

ビットレートの形式を CBR (固定ビットレート) に設定します。映像データ量にかかわらず、一定のビットレートで圧縮する方式です。

VBR :

ビットレートの形式を VBR (可変ビットレート) に設定します。映像データ量の増減に合わせてビットレートを変化させて圧縮する方式です。

ビットレート

ビットレートを ボタンで設定します。

またキーボードの [Backspace] で値を消去し、数字キーで直接入力することも可能です。

ビットレートや GOP の設定によって設定できる範囲が変化します。

Q Min :

圧縮数値の最低値を ボタンで設定します。

値を高く設定すると、圧縮量が増えますが、画質が落ちます。CBR 時はこれらの設定はできません。

Q Max :

圧縮数値の最高値を ボタンで設定します。

値を高く設定すると、圧縮量が増えますが、画質が落ちます。CBR 時はこれらの設定はできません。

DVD 互換を有効にする :

DVD 互換形式に設定します。

画面サイズ

キャプチャしたいファイルの画面サイズをラジオボタンで選択します。

GOP

GOPに関する設定を行ないます。

I

Iフレームのみで構成される形式に設定します。
データ量は増えますが、高画質になります。
またIフレーム単位での編集が容易にできます。

IBP

IBPで構成される形式に設定します。
IまたはPフレームの間に1つのBフレームが入ります。

IBBP

IBBPで構成される形式に設定します。
IまたはPフレームの間に2つのBフレームが入ります。

GOP 長さ

GOPの長さを ボタンで設定します。
Iフレームから次のIフレームまでの長さになります。

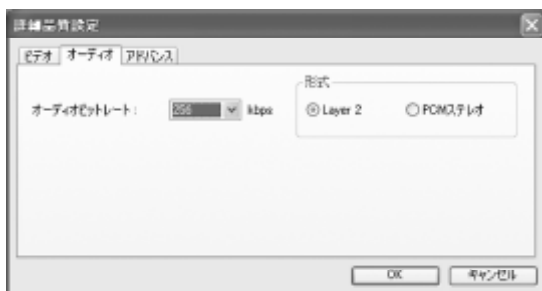
GOP タイプ

GOP タイプ (Open GOP、Closed GOP) が表示されます。
「GOP 長さ」の設定内容によって変化します。
他のGOPのIフレームを参照しないClosed GOPを選択するとIフレーム単位での編集が容易になります。

パターン

GOPパターンが表示されます。
「GOP 長さ」の設定内容によって変化します。

オーディオタブ



オーディオビットレート

オーディオのビットレートをプルダウンメニューから選択します。

形式:

録音の形式をラジオボタンで選択します。

Layer2 : MPEG1 Layer2 の形式で録音します。

PCM ステレオ : リニア PCM(1536kbps)形式で録音します。

MPEG2 の MP@ML 規格では音声と映像をあわせて 15MBps と定められているため以下の設定時は「PCM ステレオ」を選択できません。

CBR 13Mbps を超える場合

VBR 9Mbps を超える場合

アドバンスタブ



オーディオエンファシス

再生時のノイズを減らすため、高域を強調して記録します。
エンファシスの設定をラジオボタンをチェックして選択します。

- なし : エンファシスを行いません。
- 50/15 μ s : 音楽CDなどの規格に準拠した方式です。
- CCITT J17 : PALの規格に準拠した方式です。

ビデオノイズフィルタ

ノイズフィルタの設定をラジオボタンをチェックして選択します。

- なし : ノイズフィルタを使用しません。
- メジアン : TV放送に最適なノイズフィルタの設定です。
ノイズ部分をその周りの画素をソートした中央値で表示させる設定です。
- アベレージ : ノイズ部分をその周りの画素と平均化して表示させる設定です。

ストリームエンドコード

ストリーム形式の設定をします。

- なし : GOPを無視してキャプチャを終了します。
- MPEG : キャプチャしたMPEG ファイルを後で編集するのに適した形式で設定します。
- シーケンス : キャプチャしたMPEG ファイルでそのままDVDを作成するのに適した形式で設定します。

コピーライト

「コピーライト」、「オリジナル」、「コピー」のフラグを設定します。
設定するフラグの組み合わせをプルダウンメニューから選択します。

- コピーライト : ファイルに著作権があるという設定をします。
- オリジナル : このファイルがオリジナルのデータであるという設定をします。
- コピー : このファイルがコピーされたデータであるという設定をします。

タイムシフトタブ

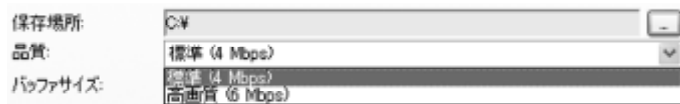


保存場所

タイムシフト用の一時ファイルの保存場所を[...]をクリックして設定します。

品質

タイムシフト時の画像品質(フォーマット)をプルダウンメニューから選択します。



設定できるフォーマットは以下の通りです。

テレビ / ビデオ / S ビデオ

標準 : MPEG2 4Mbps 720 × 480 ピクセル

高画質 : MPEG2 6Mbps 720 × 480 ピクセル

バッファサイズ

タイムシフト用の一時ファイルの最大サイズの数値を、[][]で設定します。

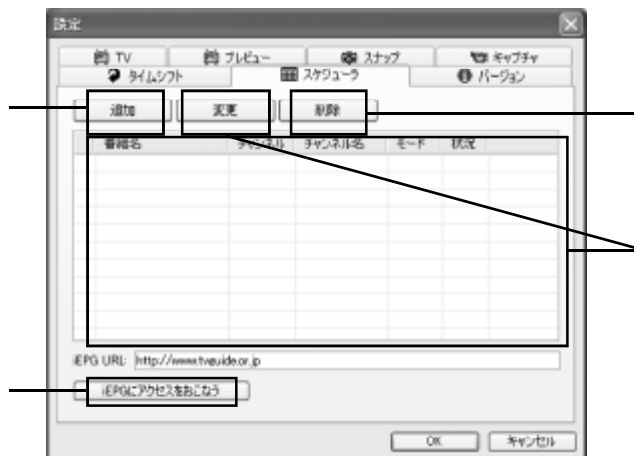
タイムシフト時間

設定された品質とバッファサイズをもとに、タイムシフト用に録画しておける時間の残りが表示されます。

スケジューラタブ

MonsterTVの予約録画にはスケジューラから手動で指定する方法と、iEPGに対応したインターネット上のホームページから予約することができます。

予約録画は10個まで設定できます。



スケジューラからの追加

追加録画設定をスケジューラから直接設定する方法です。インターネットに接続する環境がない、または、ケーブルTVの番組をiEPGで設定できない場合はこの方法で設定してください。[追加]をクリックすると、スケジュール追加ウィンドウが表示されます。



キャプチャソース

録画したい入力ソースのラジオボタンをチェックします。

時間

開始時間

録画を開始する日時を ボタンをクリックして設定します。

終了時間

録画を終了する日時を ボタンをクリックして設定します。

深夜

予約録画中に日付変更が起きるような時間設定の場合にチェックします。

「毎週」「毎日」周期の場合のみ設定可能です。

分割

長時間の連続録画やDVDやCDなどデジタルメディアに保存するために、ファイルサイズを指定することができます。

[1 個]

この項目のラジオボタンをチェックすると、設定したファイルサイズになると自動的に録画/録音を終了します。

[連続分割]

この項目のラジオボタンをチェックすると、設定したファイルサイズになると自動的に次のファイルを作成し録画/録音を続行します。

番組名

番組名を入力します。

チャンネル

録画したいチャンネルをプルダウンメニューから選択します。

周期

この録画を実行する周期をプルダウンメニューから選択します。

一回: 一回だけ予約録画を実行します。

毎週: 設定した予約を毎週実行します。

毎日: 設定した予約を毎日実行します。

モード

予約で録画される動画ファイルの品質をプルダウンメニューから選択します。

音声モード

[ステレオ][主音声][副音声][主+副]から選択することができます。

各項目を設定して[OK]をクリックすると予約リストに追加されます。

iEPGインターネット番組ガイドから設定する場合

iEPGに対応したインターネット上の番組ガイドから予約ボタンをクリックするだけで簡単に録画の予約をすることができます。

[iEPGにアクセスする]をクリックすると、[iEPG URL:]の項目に設定されたwebアドレスに接続します。

表示されたiEPG対応番組表の[予約]をクリックすると、予約ファイルがダウンロードされ、予約リストに追加できます。

iEPG 対応番組表のホームページにアクセスするには、インターネットに接続できる環境が必要です。その他、「ON TV JAPAN」(<http://www.ontvjapan.com/>)や以下の各iEPG サイトにも対応しています。
「テレビ王国」「日刊スポーツ」「goo テレビ番組ナビ」「infoseek TV 番組表」

iEPG を使用してインターネットのホームページから番組を予約するには、テレビのチャンネルリストの「iEPG」の項目が設定されていないと、予約することができません。
初期設定では「iEPG URL:」の項目にインターネットTV ガイド(<http://www.tvguide.or.jp>)が登録されています。
他のページに変更する場合は、「iEPG URL:」の項目にそのページのアドレスを入力してください。

予約内容を変更する

設定した予約内容を変更します。

予約リストから予約番組を削除する

予約リストから、削除したい番組予約を選択し、削除ボタンを押してください。

各項目を設定して[OK]をクリックすると予約リストに追加されます。

バージョンタブ

現在インストールされているMonsterTVアプリケーションのバージョンを表示します。



上記の画面と実際の表示画面のバージョンは異なる場合があります。

DVDダイレクトバーニング(直接書き込み)の方法

「DVD MovieWriter2 SE」と独自開発した専用プラグインにより、見ている映像をそのまま直接DVDに書き込むことが可能になりました。

今までのように映像を一旦HDDに保存する必要がなく、TVやVHSビデオで撮りためた映像、8mmカメラ等で撮りためた思い出の映像を再エンコードなしに直接DVDへ書きこみます。

また、「プロジェクトの作成」からの直接取り込みにも対応しています。

「Ulead DVD MovieWriter2 SE」のインストール方法

デバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM の「DMW2」フォルダ内の「setup.exe」アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

Ulead プラグインのインストール方法

デバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM の
"MoTVPH_UleadPlugin.exe" をダブルクリックして実行します。



セットアップウィザードが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

DVDダイレクトバーニングの方法

1. 書き込みに使用する DVD ディスク (DVD+RW/DVD-RW) をドライブに挿入します。
2. 「Ulead DVD MovieWriter2 SE」を起動します。
3. 「ディスクに直接記録」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. 「ドライブ」でDVDの書き込み可能なドライブが選択されていることを確認してください。
「出力設定」で「直接書き込み:再編集可能なDVDビデオ形式」チェックし、「次へ」をクリックします。
追記を行う場合は、「既存のDVDビデオに追記する」にもチェックを行います。
「チャプター」ではなく「タイトル」として追記されます。



5. この画面で各種設定を行います。

「キャプチャ設定」をクリックし、「ビデオ形式」「ビデオソース」「オーディオ形式」の設定を行います。

また、「MonsterTV PH-R/PH-GTR Ulead プラグイン」が有効になっていることを確認してください。

選択されていない場合は「キャプチャプラグインの切り替え」で選択を行ってください。

「ビデオ形式」 ここで記録したいビットレートのプロファイルを選択します。

「ビデオソース」 ビデオソース(テレビ/ビデオ/Sビデオ)を選択します。各種色・チャンネル設定もここでを行います。

「オーディオ設定」 モノラル/ステレオなどの設定をします。



6. ビデオソースの選択します。

「ビデオソース:」から「テレビ」「ビデオ」「Sビデオ」を選択します。

「テレビ」を選択した場合、「チューナソース」から「アンテナ」または「ケーブル」を選択してください。取り込みたいTVのチャンネルは直接入力します。

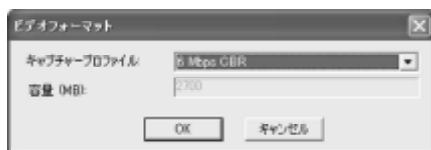
「色設定」「デジタル処理」はお好み合わせて設定を行ってください。

デジタル処理はPH-GTRのみです

ノイズリダクションとY/C分離は排他使用です。



7. 取り込みたいビットレートを設定します。「ビデオ形式」ウィンドウを開いて、「キャプチャプロファイル」からキャプチャしたいビットレートを選択してください。



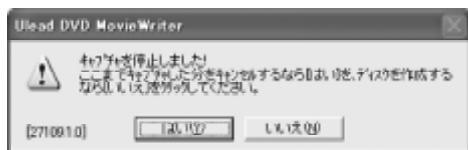
8. 設定終了後、「キャプチャと書き込みを開始」をクリックしてキャプチャを開始してください。



9. キャプチャを終了したいところで「キャプチャの停止」をクリックしてください。



10. 以下のメッセージが表示されますので「いいえ」をクリックしてください。DVDのファイナライズが開始されます。これには数分かかります。



DVDに書き込み可能な時間について

MovieWriter上で表示されるキャプチャ可能時間

MPEG2の特性上、表示される画面の性質によってビットレートが変化します。
そのため、ここで表示される書き込み可能時間は目安になります。

(例)

4Mbps CBR	2時間02分
4Mbps VBR	1時間58分
6Mbps CBR	1時間24分
8Mbps CBR	1時間04分
DVD長時間1 (3.3Mbps VBR)	2時間20分
DVD長時間4 (1.2Mbps VBR)	6時間07分
DVD標準1 (5Mbps VBR)	1時間35分
DVD高画質 (9.5M CBR)	0時間54分

上記は選択可能なプロファイルの一例です。

作成したDVDディスクについて

作成したDVDは一般に販売されているDVDビデオフォーマットに互換する形式で書き込まれています。

そのため、DVDビデオが再生できる環境のパソコンはもちろんのこと、一般のDVDプレーヤーや家庭用ゲーム機器でも再生可能です。

実際の書き込みは「+VR」形式となります。

再生にはDVD+RW、DVD-RWディスクが読み込み可能で、MPEG1 Layer2 オーディオ再生可能な環境が必要です。

上記条件は、それを満たす環境でのすべての再生を保証するものではありません。

MovieWriter2 SE ユーザーズマニュアル

下記の場所にPDF形式ファイルのマニュアルが収録されています。

アプリケーションインストール前

デバイスドライバ / アプリケーション CD-ROM 内の「DMW2」
「Document」 「Manual」フォルダ内に PDF 形式マニュアル
「DMW2.pdf」が収録されています。

アプリケーションインストール後

「スタート」ボタン 「プログラム」または「すべてのプログラム」
「Ulead DVD MovieWriter2」 「ユーザーマニュアル」をクリックす
るとマニュアルを開くことが可能です。

PDF マニュアルを参照するには Adobe Acrobat Reader が必要です。

Adobe Acrobat Reader は本 CD-ROM の「DMW2」 「Document」
「AcrobatReader」フォルダに収録されています。

サポート

本アプリケーションの技術的なお問い合わせは、ユーリードシステムズ
社へご連絡ください。

インターネットによるお問い合わせ

<http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm>

電話によるお問い合わせ

TEL:03-5491-5662

サポート受付時間

平日 10:00-12:00、13:00-17:00

土日、祝日、年末年始は休み

ショートカットキーについて

MonsterTVアプリケーションでは以下のショートカットキーが使用可能です。

操作パネルのショートカットキー

入力ソース	
テレビ	[Ctrl]+[T]
ビデオ	[Ctrl]+[V]
Sビデオ	[Ctrl]+[S]
音声モードボタン	[Ctrl]+[A]
スナップボタン	[Ctrl]+[N]
ミュートボタン	[Ctrl]+[M]
タイムシフトボタン	[Ctrl]+[P]
ボリュームコントロールボタン	[], []
チャンネルボタン	[], []
ビデオ操作ボタン	
再生ボタン	[Alt]+[P]
録画/録音ボタン	[Alt]+[R]
停止ボタン	[Alt]+[S]
一時停止ボタン	[Alt]+[U]
巻き戻しボタン	[Alt]+[]
早送りボタン	[Alt]+[]
前ボタン	[Alt]+[]
次ボタン	[Alt]+[]
設定ウィンドウ表示	[Ctrl]+[Alt]+[S]

その他のショートカットキー

チャンネル直接指定0~9	[0] ~ [9]までの数字キー
フルスクリーン	[Ctrl]+[F]

製品に関する情報

よくあるお問い合わせや最新版のドライバなど、製品に関する最新の情報は、弊社ホームページに随時掲載しています。是非1度ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.sknet-web.co.jp>

ユーザー登録について

製品のユーザーサポートをお受けになる際には、ユーザー登録が必要となります。

ユーザー登録をされていない場合、サポートをお断りする場合もございます。ご了承の上、ぜひご登録ください。

ユーザー登録は弊社ホームページ、もしくは製品に添付されているユーザー登録はがきに必要事項をご記入の上、50円切手を貼って投函してください。

サポートセンター

弊社の製品に関するご意見、ご質問およびユーザーサポートは下記までお電話またはFAXでご連絡ください。

お問い合わせの内容によっては、ご返答に多少お時間をいただく場合がございます。ご了承ください。

FAX	045-470-3609	24時間受け付けいたします
TEL	045-470-3973	月～金 13:00～17:00（祝祭日を除く）

サポートセンターにご連絡頂く際は、迅速に対応できるよう下記内容を予めご確認ください

お客様の お名前・ご住所・郵便番号・連絡先のお電話番号およびFAX番号。

ご使用の弊社製品

ご使用のパソコン本体 メーカー・名称・型式・年式

メーカー： 名称： 型名： 年式：

ご使用のWindows（OS）

ご使用のパソコンに接続されている周辺機器の名称・メーカー・型式

メーカー： 型名： ドライバVer：

症状（表示されるエラーメッセージの内容、現象、現象の起こる手順、など出来るだけ詳細に）

自作パソコンをご使用の場合は下記項目も合わせてお知らせください。

使用中のマザーボードメーカー・名称 / 型名・チップセット・BIOSのバージョン

メーカー： 名称： 型名：

チップセット： BIOS Ver：

ビデオカードのメーカー・型名・現在使用されているデバイスドライバのバージョン

メーカー： 型名： ドライバ：Ver

エスケイネット株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-17-2 フォンターナ新横浜 3F

SKnet